

ぶちたまご

第2号

平成25年2月
 社会福祉法人
 米沢仏教興道会
プチハウス
 米沢市徳町1-38-1
 TEL 0238-26-6565



「雪だるまできたよ〜!!」
 園庭でお友だちと一緒に雪玉を転がし、
 かわいい雪だるまを作りました。



「みんなでパシャーン」
 破いた広告紙をフールに見立てて、
 その中に飛び込み楽しむ子どもたちです。



「お散歩嬉しいなあ」
 ほけほけと気持ちの良いお天気の日記、
 みんなでお散歩に行きました。



「おしりシューツ!!」
 “よいしょ”と踏ん張って登り、
 下る時はお尻で滑って楽しんでいます。

新園長として

プチハウス 園長 山口 武揚

昨年の4月より新園長として就任以来、子どもたちのかわいい笑顔と元気な声に囲まれ、保護者の皆様の温かなご理解とご支援により1年が過ぎようとしています。まだまだ力不足ですが“プチハウス”の小さくかわいい子どもたちと、家庭のような温かい家をしっかりと守っていければと思います。

今、子どもを取り巻く社会環境は厳しさを増し、様々な競争を強いられています。そのような厳しい中であっても、自分らしく生き抜く力を乳児期に培うことが求められています。私たち大人は子どもの気持ちをしっかり受け止め、見守り、共感し、その子らしく力強く自信を持って生きていけるよう実践し、支えていきたいものです。

“ぶちたまご”の第2号です。卵の殻を破り元気に外に出て、のびのびと成長していく姿をどうぞご覧下さい。

絵本だいすき

Vol.2

『プチハウスの子どもたちは、絵本がだいすきです。園でもお家でも子どもたちには大好きな絵本があるようです。当園では毎月絵本だよりを発行しています。その中で保護者の方に幼稚園での絵本について書いていただいたコメントよりご紹介致します。』

私自身絵本が大好きというところもあり、佳歩が生まれて間もない頃から、絵本の読み聞かせをし、言葉が分からぬ頃は、絵をみています。「きれいだねー」などと楽しんでいました。好きな絵が現れると表情が変わったりして、その顔を見ているだけで育児に疲れた時、ほっとした時間を過ごすことができました。1歳を過ぎて言葉が出始めた頃から、絵を楽しみだすだけでなく、絵本のフレーズを繰り返したり、絵の食べ物をパクパクしたり、動物の鳴き声を真似したりと、少しずつ楽しみ方が変わり成長の過程を一緒に楽しんでいます。

特に親子で楽しんでいる本は「ぎゅこ」(しろくまぐん)のホットケーキです。ぎゅこは動物たちがぎゅこを抱き合う絵本なのですが、読み終わると必ず佳歩が両手を広げて満面の笑みで、ぎゅこパパとママを抱きしめてくれます。その時間が楽しくて、ついつい何度も読んであげたくなる絵本で、作ったご飯やおやつを食べるのも嬉しいようで、親子でお腹も心も満腹になれる本です。

毎日これ読んでと多い時は十冊以上読むので、時々私たち親が疲れてあと一冊で終わりねと言ってしまうのですが、いろいろなる事を想像したり、感じたり、親子で共有できる大切な時間をこれからもう一緒に楽しんでいきたいと思っています。

伊藤佳歩ちゃんのお母さん
 伊藤 綾子さん



わくわくおもちゃ

かえる人形 「びよんびよん 動くよ」

一つひとつぬくもりのある手作りおもちゃで喜んであそぶ子どもたち。その中で、子どもたちがあそんでいる姿から手作りおもちゃを見直し、より子どもの興味や育ちに合ったおもちゃを用意しています。これからも、手作りおもちゃであそぶ子どもたちのキラキラとした笑顔が見られるのが楽しみです。

さい音にカエルの形のダンボールを貼り、カエルの人形を作りました。カエルの歌をつたいながら、その人形を上下に動かして見せると、喜んで見ている子どもたちです。保育者の真似をしたくて、カエルの人形を上下に動かすのですがうまくいきません。そこで、さい音ではなく紐を使い、カエルも少し小さくしてみました。カエルの中に綿をつめることで触り心地も良くなり、適度な重さもあるので上下に動かしやすいになりました。自由に動かしてみたり、保育者にカエルの歌をつたってもらったりして楽しんでいます。

パッチンボード 「びっくり! おとがでるよ」

パッチンボードは、大きいボタンやビーズにゴムを通して穴のあいた板に結んだものです。ボタンをくるとひっくり返したり、ビーズを力強くギューっと引っ張って手を離すと、板とぶつかって“パチン!”と大きな音が出ます。はじめは“オッ”と目を丸くしたようにビックリするのですが、手を離すと音が出る、というその反応が面白く、子どもたちのわくわく感をくすぐっているようです。



編集後記

プチハウスでは乳児園ならではの行事が数多くあり、子どもたちの姿を捉えながら内容を考えて進めています。そして保護者の皆さんと一緒に楽しんでいます。また食育にも力を入れています。その中でプチハウスの小さな畑は子どもたちにとっては魅力的な空間になっているようで、目で見ても触っても楽しめました。これからも子どもたちの姿を大切にしながら、かかわっていきたいと思います。(鈴木 記)

楽しい行事



フチハウスは0~3歳までの小さい子どもたちが通う園ですが、その中でさまざまな行事を行っています。親子が集う夕涼み会やフチフェスティバルでは楽しそうな笑顔がたくさん見られます。また、プール開き、だんごの木飾り、仏教行事等では由来や行事の意味を分かりやすく話し、楽しみながらも伝統をつないでいきたいと考えています。

夕涼み会

わっしょい
わっしょい
たのしいな~

夏の行事に夕涼み会があります。家族で参加し、保護者や職員と親睦を図り、夏祭りの雰囲気を楽しんで過ごします。コーナーあそびや、子どもたちの手作りおみこし担ぎを楽しみ、「わっしょい わっしょい」の掛け声も元気いっぱいです。暗くなると赤青黄色の花火に「きれーい」の歓声が上がります。夏のひと時をみんなで楽しみます。



フチフェスティバル

いろんなあそび
たのしいよー



フチフェスティバルはフチハウス最大の行事です。毎年たくさんの御家族や、子育て支援センター「くれよん」のお友だちも参加し体を動かしたり、絵本を読んだり、手作りおもちゃを作ったりとさまざまなコーナーであそび、大賑わいとなっています。また、フチハウス自慢の手作りおやつも試食で大好評です。

プール開き

プールあそびを始める前に、園長先生（高岩寺住職）からお経を上げてもらい安全祈願を行い、水あそびが安全に楽しくできるようにしています。プールあそびでは水の中で足をバタバタさせたり、水鉄砲をしたら子どもたちの笑顔でいっぱいです。



静かに
聞いているよ!



みずつて
きもちいい!

災害訓練

じょうずに
頭巾かぶれたよ

月に1度災害訓練を行っています。東日本大震災を受け、災害訓練の重要性を改めて再確認し、火災・地震・水害・不審者他など、内容を工夫しながら訓練に臨んでいます。頭には防災頭巾をしっかりとかぶり、保育者の声かけて安全に避難できるようにしています。



だんごの木飾り

木にだんご
さしたよ~!

フチハウスでは子どもたちの健やかな成長を願い、伝統行事である「だんごの木飾り」を行います。自分たちで作った折り紙やだんごを小さな手で一生懸命飾りつけ、そして出来上がった色とりどりのだんごの木を嬉しそうに見上げている子どもたちです。



食育活動の中から

食事は心も体も大きくなるためにとても大切なものです。当園では食育活動に重点を置き、環境を整え保育者のかかわりを大切に考えています。また、畑づくりや食材に触れるなどさまざまな実体験を通して、五感を十分に使い食べものに興味を持ち楽しく意欲的に食べることができるようになっています。



赤ちゃん食育 (0歳児)

「一人ひとりの
おいしいごはん!」



食事の土台となる離乳食を個々の発達に合わせて、ていねいに進めています。0歳から1歳の間にミルクから初期食・中期食・後期食と経験し、乳児食を食べられるようになる大切な時期です。自分で食べようとする気持ち、食事を喜ぶという気持ちを育てながら、保育者で共通理解しながらかかわっています。様々な食材に触れたり、味わったり、おいしく感じられることを大切にしています。

えくほ相食育 (0・1歳児)

「自分で食べるの
だ~いすき!」



午前中はたくさん体を動かしてあそび、お腹がすいて喜んで食事ができるようにしています。友だちと一緒にいることを喜ぶようになり、苦手なもので友達だけが食べている姿を見て食べようとしていたり、笑い合っている姿を見られます。楽しい雰囲気の中で、こぼしながらも手づかみやスプーンを使って喜んで食べる姿を大切に、自分で食べる意欲を育てています。

とことこ相食育 (1歳児)

「見て~
できたよ!」



さまざまな食材を見て触れることで、興味を持って喜んで食べられることを大切にしています。2歳児クラスの畑作りの様子を見たり、収穫をしたり、また、魚の解体の様子を見たり、とつもろこしの皮むきをするなどさまざまな経験を通して、子どもたちは食材や食べることに興味を持つことができます。食事を通して「これなあに?」「おいしいね!」などのことが聞かれ、笑顔がたくさん見られます。

てくてく相食育 (2歳児)

「たのしいりんご狩り!」



りんご狩りに行く前からりんごの絵本を見たり、給食で皮つきりんごを食べ楽しんでいたりした子どもたち。りんご狩りに行くこと「りんごいっぱい!」と喜ぶ笑顔が見られました。一人ひとりりんごを収穫し、その場で丸かじりすると「おいしい!」とニコニコしながら喜んで食べていました。りんご狩りを終えてからも、りんごの製作をして満足ごっこを楽しんだり、「みんなでりんご狩り行きたもんね!」などと友だち同士のやりとりも多く見られたようです。